

(例)

※現在の様式とは一部異なります。

<様式4-1>

振興会受付欄 ()

個人研究助成1年次交付申請書

研究領域番号 (11) 研究領域 (国語[小])

1 研究主題 (ある場合は副主題)

「主体的に学び、かかわる子」
— 6年 子どもの追究意欲をつなげる国語科学習を通して —

2 研究者

○学校名 () 職名 (教諭) 電話 ()

○氏名 教職経験年数 (7) 年

○教育研究助成を受けたことの有無 有 (平成 年度) ・ 無

3 研究主題設定の理由

教員生活も7年目を迎え、これまで様々な子どもたちの姿に出会ってきた。学習場面においては、課題を解き明かそうと考える子や自信をもって発言する子、仲間の考えのよさを自分の学習にいかしていく子など、自らすすんで学習に取り組む姿である。その一方で、解決しようと動き出せない子や、ワークシートに自分で考えをまとめていても発言できない子、発言の声が小さい子が多くいた。これは、学習に対する興味や関心、課題意識の低さや、自分の考えに対する自信のなさが理由であると考えた。

また、生活場面においては、仲良くかかわろうとしているものの、相手の気持ちを考えずに言葉を使い、他者の心を傷つけてしまう子や、自分の気持ちを上手く言葉にして伝えられず、けんかに発展してしまう子にも出会ってきた。このようになってしまう理由として、他者の立場や思いを尊重する相手意識の希薄さや、自分の思いが伝わるように言葉を選び、表現する言語感覚の未熟さが挙げられるのではないかと考えた。

そこで、研究1年次となる本年度は、国語科を研究教科と取り上げる。学習や生活の基盤となる言語能力を育む国語科の学習を充実させることで、子どもたちが、言葉にこだわり、ともに日常生活を送る他者の思いや考えに目を向けて、すすんで話したり聞いたりしていこう。また、子どもたちの「やってみよう」「確かめよう」「解決しよう」という興味や関心、課題意識を引き出して、課題を設定したり、単元を構想したりすることで、子どもたちは主体的に学習に取り組むだろう。明確な共通課題をもった子どもたちは、すすんで他者とかかわり、協働的に課題を解決しようと動き出していこう。さらに、「学んだことを広げよう」という子どもたちの思いを取り上げ、実現し、学びを広げる場を設定することで、伝える相手を意識して、書いたり、話したりして他者や社会へかかわっていこうと考え、「主体的に学び、かかわる子」を研究主題として設定し、本研究に取り組むことにした。

4 研究の内容

「主体的に学び、かかわる子」を育てるために、以下のような仮説を立てた。

【研究の仮説】

I 子どもたちの実態をとらえ、教材との出会いを工夫したり、子どもたちの思いや願いを

大切にした単元を構想したりすれば、子どもたちは学習意欲を高め、課題意識をもって主体的に追究するだろう。

- II 自分の考えを明確にして、他者とかかわる場や協力する場を工夫すれば、協働的に課題解決に向かいながら、自分の考えを広げたり、深めたりするだろう。
- III 学習を通して、学びを広げていく場を設定すれば、自ら動き出し、相手意識をもって他者や実社会に働きかけるだろう。

5 研究計画

仮説Ⅰ～Ⅲを検証するために、以下のような手だてを考えた。

【研究の手だて】

Iーア 普段の様子から子どもたちの実態を把握し、教材との出合わせ方を工夫する

授業中の様子や、日常会話、生活日記などから子どもたちの実態をとらえる。子どもの実態から、興味や関心、課題意識をもって追究できる教材を選定し、出会いを工夫することで、子どもたちは、学習意欲を高めることができると考えた。

Iーイ 子どもの思いから課題を設定し、追究活動とつなげる単元を構想する

活動後には、子どもたちが思いをまとめられるように、授業日記を書く時間を設定する。子どもの「やってみたい」という思いから課題を設定し、総合的な学習での追究活動とつなげる単元を構想することで、課題意識を継続して主体的に学習に取り組めると考えた。

IIーア 考えをまとめる時間を保障し、教師との対話を行う

子どもたちが自分の考えをまとめる時間を保障する。その後、教師との対話を行い「どうしてそう思ったの?」「いいね」などと声をかけることで、考えを明確にして、自信をもたせることができると考えた。

IIーイ ペア、グループ、学級全体など、他者とかかわる様々な活動を工夫する

ペアやグループでの活動を取り入れる。少人数での活動を取り入れることで、子どもたちは、自分の考えを伝えやすくなるだろう。また、ペアやグループで伝え合ったり、協力したり、認め合ったりする活動を設定することで、自信をもって全体の話し合いの場でも考えを伝えられるだろう。全体のかかわり合いの場では、子ども一人一人やペア、グループでの考えを座席表にまとめ、指名順を考えることで、子どもたちは、考えを深められると考えた。

IIIーア 学んだこと広げていく場を設定する

子どもたちの「学んだことを広げていきたい」という思いを引き出し、自分たちの学びを他者や実社会に広げていく場を設定する。子どもたちは、学んだことを伝えようと自ら動き出していこう。また、伝えるにはどうしたよいか、話し方や書き方などの表現の仕方を考えることで相手意識を育むことができると考えた。

上記の研究に対する研究費の助成を申請します。

令和2年4月28日

申請者氏名 _____

上記の者の申請を認めます。

校長氏名 _____

愛知教育文化振興会理事長 様